

市指定

所在地：立町

もくぞうからじし

木造唐獅子

文化4年（1807）2月18日、立町が大火に見まわれた際、類焼して寺は焼失したが山門だけは猛火に包まれながらも焼け残ったという。あまりの不思議さに、「この唐獅子が火焰を吹き消したのだ」と言われる。姿態と表情の優秀さを物語る、唐獅子にまつわった面白い伝説である。

尊宝寺山門の屋根下の梁にうずくまっている。

ケヤキ一木造。

高さ75cm。

